

沼垂 かがみ



〈学校の教育目標〉

- よく考える子
- 力をあわせる子
- 体をきたえる子

〈児童数〉

367名
(家庭数291)

発行 新潟市立沼垂小学校 広報部
TEL(247)5326 FAX(247)5327

ホームページ <https://www.nuttari.city-niigata.ed.jp/>

学校のページを
随時更新しています。
是非ご覧ください。



今月号の内容

- 巻頭言
- 「沼垂」から学ぶ
- 六年生を送る会
- みんなが楽しい! 体育授業
- 沼垂っ子の活躍



受賞 新潟日報社(公財)日本教育公務員
弘済会 新潟支部主催
特色ある教育実践論文 優良賞
『まつり』で高める、子どもの
対話力、共感力、持続力、沼垂力

地域と関わり、つながり、 愛され、応援される沼垂校

校長 門倉 純一

「わつしよいーわつしよいー」
ある六月終わりの暑い日、児童玄関
前で、灯籠の押し合いの音が響いてい
ます。三年生が灯籠を囲み、大人と対
決しているところでした。

灯籠の押し合いは、沼垂まつりのメ
インイベントです。町内同士の勇壮な
力のぶつかり合いは、参加者ももちろ
んのこと、観る者を魅了してやみませ
ん。

子どもの押し合っている灯籠は、大人サ
イズを縮小したものです。しかし、そ
れなりの重量はあります。

三学年が総合的な学習の時間でこの
体験をするに当たり、三名の指導者が
いらつしやいました。地域で大活躍の
沼垂まつり実行委員会の方たちです。
法被を身にまといシユツとしたいで立
ちに、子どもたちは魅了され、ワクワ
ク感がうなぎ上りです。

大人チーム対子どもチームでの灯籠
の押し合い勝負は、かなり拮抗してき
ました。応援の子どもの歓声は、勝負
を繰り返すたびに大きくなっていしま
す。大人もだんだん本気モードに突入、
子どもたちも当然本気、全力のぶつか
り合いがまつりの醍醐味です。勝負の
初めと終わりに歌う木遣りの節回し
も、押し合いに華を添えていました。

灯籠の押し合いを指導者から教えて
もらい、三年生は、まつりの楽しみ方
を肌で感じる事ができました。

このように、沼垂校には、子どもの
学びを深めるために、たくさんの方
トがいらつしやいます。

中でも、沼垂校の出身の方や沼垂地
域で現在も活躍されている方と接する
と、沼垂校への思いの熱さを感じます。
沼垂校に関わってきたことへの誇りや
深い愛情をもって活動していることが
伝わるのです。

私は、この方々を、沼垂校の応援団
だと思っています。

実際に、地域には、PTA応援団と
いう組織があります。規約によると、
お子さんが沼垂校を卒業された保護者
が団員のようで、後々、コミュニティ
協議会や交通安全協議会などで役員を
されたり、子ども見守り隊に入って
くださった方が多くいらつしやいま
す。

ところで、沼垂校のPTA活動も、
他校では見られないほど充実してい
ます。子どものために、こんなに前向き
に活動する方々を見たことがありませ
ん。間違いなくPTAの皆さんも、応
援団の一員です。

応援は、人に元気を与えます。運動
会や試合などでの声援が、いつも以上
の力を生み出すように。

沼垂校は、たくさんの方の応援団員に支
えられ成り立っています。とても幸せ
なことです。

ここで学んだ六年生が卒業を迎えま
す。応援団のおかげで大きく成長でき
たことに感謝いたします。彼らが、今
後沼垂校応援団員になり、地域で頼ら
れる存在になることを期待していま
す。引き続き地域の皆様からの見守り
とご指導をお願いいたします。